



大殿地区文化施設合同
で東日本復興支援イベ
ント「桜めぐり&お茶
めぐり」を開催、伝承
センターでは4月1日
に柴山流のお茶のお点
前を体験頂けます。



桜めぐり&お茶めぐり
お煎茶茶席(みやび館)

和菓子作り体験を開催しました

かつて、ものづくりの店舗が軒を連ねていた豎小路界隈において現在も営業している和菓子店に協力いただき、3月4日和菓子作りの体験講座を開催、12名の方が参加されました。

講師の風月堂職長・設楽浩治さんより説明の後、手の洗い方の指導から始まりました。

講師の手ほどきを受けながら、参加者一人一人が熱心に形作られていました。彩りゆたかな和菓子を2種類作り、1つはその場で抹茶とともに試食しました。

食べることはあっても普段実際に作ることがない和菓子なので、とても楽しかった、との感想が聞かれました。季節を感じながら見て味わう体験ができたようです。



まちづくりNEWS ◆ミニ暮音小路◆

大殿地域の道路の美装化が一の坂交通交流広場から新馬場あるいは石原小路辺りは既に始まり、地区の皆様方には通行でご迷惑をおかけする事も多いかと思いますがこの界隈が次第にきれいに繋がっていく様子を思い浮かべながらのご協力をよろしくお願い致します。さて、大内文化街道まちなみ協議会では2月28日に全体会を開催し、次なる整備の龍福寺周辺道の回遊性や照明について市と意見交換を開催

今回は担当課に加えて協議会の要請に添えて文化財保護課や観光交流課も参加、別整備の経過を説明された為、道路の美装化と連動する方法の検討を依頼し感触もよく横の連携も出来て、人々の繋がりも感じました。



① 県庁舎建設中

大正 5 年竣工の旧県庁舎の老朽化・狭隘化等のため新たに建設することとなり、歴史遺産や豊かな緑に囲まれた同地に昭和 56 年着工、同 59 年 15 階建てで高さ約 69m、萩焼風の枇杷色の外観をもつ新県庁舎が竣工、祝賀行事として市民 1 万人の提灯パレードが行われました。同年旧県庁本館と旧県会議事堂は国の重要文化財に指定され、県政資料館として保存されることになりました。

② 県警察本部

昭和 29 年県警察制度が発足し警察本部を設置、同 34 年庁舎が新築されました。同 40 年交通問題の深刻化に対処するため交通部を新設。平成 2 年新警察棟が竣工しました。

③ 国道 9 号バイパス

自動車の普及に伴い中心市街地、湯田温泉を通る国道 9 号では渋滞や交通事故が頻発、バイパスを建設することになり昭和 50 年度着工。57 年県庁前 - 吉敷木崎間が部分開通、平成 5 年県庁前 - 西桜畠間が開通、同 7 年宮野上 - 朝田間 11.3km が全線開通し、従来の国道 9 号は県道 204 号に。同 12 年 4 車線全通。アクセスが向上し、周辺の施設建設や道路整備も進められ、山口市の大動脈として経済・くらしを支えています。

④ パークロード

昭和 48 年県立山口図書館新館が、同 54 年県立美術館が開館した文化ゾーンを貫き、同 55 年完成しました。歴史を刻んできた道筋は幅 40m に拡幅され、1 万本の街路樹は四季折々の彩りを見せます。同 62 年「日本の道 100 選」に選ばれました。

⑤ 県庁分庁舎

県庁舎が手狭になり、山口大学移転後の旧文学部校舎に設置。教育庁や住宅供給公社等が置かれました。平成 19 年頃解体。

⑥ 公設市場

国道 9 号改修工事にあわせ、昭和 37・38 年にかけて中河原に 5 階建の市営アパートが完成、1 階には公設市場・川端市場が入り「市民の台所」として親しまれました。平成 23 年商店街にオープンしたマルシェ中市に市場機能を引き継ぎ閉店、同 27 年跡地に一の坂川交通交流広場がオープンしました。

航空大写真集 空から見たやまぐち

昭和 57 年 (1982) (大和書房発行)

山口県立山口図書館蔵



4月スケジュール

教室 OB会

日	月	火	水	木	金	土
1 作品発表会~4/8 桜めぐりお茶めぐり	2	3	4 竹細工	5	6 陶芸AB 手織	7 大内塗 着付
竹細工 竹細工	和裁 型染①	トール	パッチ③	和裁 レザー①	大内塗	鷺流
8	9	10	11 陶芸A	12 レザー	13 陶芸B	14
こども茶の湯	和裁 型染②	陶芸A トール	陶芸A	陶芸B	パッチ②	陶芸B
	和裁 型染③		パッチ①	和裁 レザー②③	手織	鷺流 竹細工
15	16	17	18 竹細工	19	20	21 大内塗 着付
竹細工	和裁		竹細工			
竹細工	和裁 型染④	トール	パッチ③	和裁 レザー①	大内塗	鷺流
22 端午飾り~5/12	23	24	25	26	27	28
床ワックス	和裁 型染⑤	消防訓練		レザー	レザー②③	古布でミニかぶとづくり
	和裁 型染⑥		染色	パッチ①	和裁	パッチ②
				手織		鷺流
29	30	5/1	2	3	4	5
そば打ち体験						
こども茶の湯						

イベント案内

端午飾りと「古布でミニかぶとづくり体験」

大殿大路界限を中心に、端午の節句にちなんだ飾りでまちが彩られる「端午 de さんぽ」が開催されます。

(主催 NPO 法人大路小路まち・ひとづくりネットワーク
TEL 083-920-9220)

伝承センターでも武者人形やこいのぼりを展示し、「ミニかぶと」づくりも体験できます。

○端午飾り

期 間：4月22日(日)~5月12日(土)
9時~17時、観覧無料

○古布でミニかぶとづくり体験

ノリとアイロンを使ってどなたでも簡単に作れます!

日 時：4月28日(土) 10時~12時、
13時30分~15時30分の間に
随時体験可

定 員：30名程度(先着順)
体験料：300円



ショップのご案内

○ミュージアムショップ

大内塗各工房作品をはじめ小物等の販売を行っています。大内塗は高価なもの、といったイメージがあるかもしれませんが、ここではストラップなどの小物、夫婦箸、小ぶりの人形など 500~5,500円程度の手頃な価格の品をおいています。また徳地和紙、ステンドグラス小物など、山口にゆかりの深い工芸品等の販売も行っています。山口のお土産として、お友達へのプレゼントとしてご利用いただき、その結果山口のPRにも役立てていただければ幸いです。



○アンテナショップ

センター開講教室の卒業生による「西京ふるさと工房」が、山口の特産品を創作する活動に取り組んでいます。素朴な味わいの中に山口らしさを表現した、手づくりの作品を展示・販売しています。おみやげ・贈り物に、暮らしのアクセントに、気軽にお求めいただけます。



教室(初心者向け)・体験のご案内

平成30年度各種教室を開講します

4月から各種教室(陶芸、大内塗、和裁、手織、型染、トールペインティング&メタルエンボッシングアート、革ろうけつ染レザークラフト、竹細工、着付、こどもの茶の湯)を開講します。詳しくはパンフレット、ホームページをご覧ください。

まだ若干名受け付けている教室もありますので、ご希望の方はお問い合わせください。

そば打ち体験

打ったそば3人前をお持ち帰り
日 時：毎月最終週、4月は29日(日)
13:30~16:00

定 員：14名(抽選にて選定)
体験料：1,000円(材料費含む)



随時受付(そば打ち体験受付は4月20日(金)まで)

古地図シリーズ、完結しました

「伝承センター通信」紙上で29年5月号から掲載してきました「古地図シリーズ」は、大内時代から昭和の終わりまで、町の移り変わりがわかる資料として大変好評でした。シリーズ⑩となる今回をもって終了いたします。保存・活用いただくと幸いです。ご協力いただいた皆様、有難うございました。
※29年8月号掲載・シリーズ④の山口大神宮境内社名等記載箇所「岩戸分沸」は、再確認の結果「岩戸ハイ場」と思われます。

山口ふるさと伝承総合センター発行

〒753-0034 山口市下野小路12
TEL 083-928-3333 FAX 083-932-1877
E-mail y-densho@c-able.ne.jp
URL <http://y-densho.sblo.jp/>

館内見学時間
9:00~17:00
入場料 無料